

南山大学と学生交流の協定を締結



本学経済学部と南山大学総合政策学部との単位互換を始めとする「南山大学と名古屋学院大学における学生交流に関する協定書」の締結が、昨年12月に南山大学ハンス・ユ

ゲン・マルクス学長と本学木村光伸学長とによって調印されました。(写真)

協定書によりますと、二つの大学の研究・教育上の環境を考慮し、学生の交流が両大学における各分野の研究・教育の発展に寄与できることから、交流を希望する学生を南山大学の総合政策学部、本学経済学部政策学科へそれぞれ派遣するというものです。期間は2001年4月1日から2004年3月31日。

また、覚え書きでは、派遣学生を「特別聴講生」としてそれぞれの大学が受入れることとし、受入れ人数は5名以内となっています。履修できる科目は学部が適当と認めた科目とし、登録単位数は1学期8単位までとなっています。この秋学期からは4名の本学政策学科の学生が南山大学瀬戸キャンパスに出向き、それぞれ希望の科目を受講します。

就職部が「キャリアセンター」に変更

今年度から就職部が「キャリアセンター」に名称変更されました。名称変更に伴い業務内容も大幅に変わりましたので、キャリアセンターの概要を紹介させていただきます。従来の就職支援に以下の事項が加わりました。

1. インターンシップの実施

企業や行政機関などで実際に就業体験をすることにより、業界(企業)・仕事(労働)への理解を深めるプログラムです。就業時期と期間は夏期休暇中の2・3週間です。また就業実習事前・事後教育が行われインターンシップ修了者には単位が認定されます。

2. 資格講座・公務員講座の実施

公務員講座は従来から実施していましたが、今年度から、国家Ⅱ種・地方Ⅰ級・市町村・警察官・消防官コースと言ったコース別に講座を実施しています。資格講座では、基本情報処理技術者、宅建、一般旅行、販売士2級、初級シニアド、日商簿記2級、ビジネス能力3・2級、秘書検定2級、TOEIC対策、英検2級講座を開講しています。学部により異なりますが、資格取得者には単位が認定されます。

3. 能力開発総合講座の開講

1年生・3年生を対象に、一般教養・専門の基礎的内容を中心とした導入教育、さらに就職試験の内容を中心とした実践教育を授業科目に取り入れ段階的に実力がアップするように計画されています。

以上のように、従来の就職支援に資格講座・インターンシップ・能力開発講座が加わりました。

キャリアセンターのねらいは、就職のためだけの支援ではなく、学生個々人のキャリアアップ、スキルアップを計ると同時に、自分の人生を考える、あるいは自分の進路を考え選択できる力を養う(培う)ためのプログラムを実行するセクションです。

同窓生の方々のご支援の程よろしくお願いします。

2002 A O入試だより

A O試験の体験入学は、8月18日(土)・21日(火)の4日間実施されました。本学のA O入試は、本年度で実施3年目を迎えました。大学への志願者が減少している中で、2年連続の増加となる312名(前年度は256名)の申込がありました。増加の要因は、愛知県内の公立高校からの申込者が、前年度より80%も増えたことが第一にあげられます。「生徒が受験を安易に考えやすい」として、A O入試には弊(戒感)が強かった愛知県の公立高校が、少しずつではありますが本学のA O入試について理解を示してくれています。

9月7日には適切者204名を発表し、10月20日(土)に行われます面接試験の出願資格を与えました。入試難易度より内容で大学を選ぶ時代であるということが、マスコミ等でもよく言われるようになってきました。そうした時代にあつて、大学をよく理解した上で入学を決めるA O入試の入学者が増えることは、大学にとっても大きなメリットとなり、活性化にもつながると確信しています。

思星館にモスバーガーとコンビニ

学生からの要望の高かったハンバーガーショップ「モスバーガー」コンビニが思星館1階に設置されました。

ファーストフードショップやコンビニは現代の若者にとって最も身近な生活施設であり、本学「学生実態調査」の結果や学生大会などでも設置の要望が多くあったものです。これまで本学は教育施設や教育内容の充実を優先させてきましたが、さらに学生のキャンパスライフを豊かなものにするため設置したものです。

